

田舎でよう!

京都編

～ボクと妹たちの巫女日和～

兄を立派な宮司にしようと
厳しくあたる姉・華蓮と、
純粹無垢な甘えん坊の妹・風華。
京都弁で贈る純愛ストーリー。

あらすじ

東京で働いていた主人公が京都の実家へと呼びもとされる。実家は小さな神社で、主人公はいずれ跡を継ぐことになっている。そして、実家には、神社の巫女を担う二人の妹が兄を待ちかねていた。上の妹は「お兄は私が立派な跡取り宮司にしてみせるえ!」と持ち前のS気質をむき出しにしたツンツンな女子高生。一方、下のほうの妹は純粹無垢な甘えん坊のお兄ちゃんっ子で、誰にも内緒の夢をこっそりと打ち明けてくる。だが、その夢が暴走していき……。田舎で可愛い妹たちとはぐくむちょっと変わった純愛ストーリー。

今回もいろんな衣装で
コスプレ中♡

▶ 巫女装束、私服、セーラー服、スク水、そして京都といえは舞妓さん! いったいどんなシチュエーションで出てくるのか今から楽しみだ。

▼ 朱い鳥居が合わせ鏡のように立ち並ぶ参道は神聖な空気を漂わせていた。そんな中、足を痛めたという華蓮の様子を見ていたら……。

「妹に欲情とか!? ド変態っ!」
ど、どないしてもどう我慢しいひんって
いわはるならうちが……。..
しょうがなくなんやから!」

華蓮

兄であろうと容赦なくきつい物言いをする上の妹。強気であまのじゃくで自分にも他人にも厳しい。誰も周囲に寄せ付けない独特の雰囲気を持っている。寂れた実家の神社をなんとか盛り上げていきたいと考える、家族思いのしっかり者。妹を溺愛しており、兄のいやらしい興味が妹に向かないようにと自分の身を呈して妹を守ろうとするが……。



◀ 夜の清水寺を見に来たはいいが、外気の寒さに風華は兄にすり寄って離れようとしな。遠くを見るために腰を持ち上げてやるうちにふたりは……。

◀ いつも真面目で怒ってばかりの華蓮は気むずかしい表情が多くなっている。妹を兄の魔手(と本人は思っている)から守るために彼女はどんな顔をして兄と接するのか。

姉表情



▶ 純粹でいろんなことに興味津々の風華はごろごろと表情が変わる。猫のような瞳でおねだりをされると、兄もつつい甘くなってしまう。華蓮が溺愛するのも理解できる。

妹表情



「おにいには風華だけの
観察対象なんです」

風華

厳しい両親に内緒で、とある夢をはぐくんではいる。その夢をかなえるべく、兄に助けを求めてくる純粹無垢な少女。世間知らずなので、時折、周囲がびっくりするような行動をとってしまう天然系。だが、ぼーっとしているように見えて、観察力がかかなり優れていたりもする。特技は絵を描くこと。絵が、リアルすぎてちょっと怖いのがたまにきず。



罵倒してもなじっても、そこには兄への愛がある!

これまでもビュアな少女たちとの“いちゃラブ”を描いてきた本作だが、京都編ではどんな“いちゃラブ”っぷりを見せてくれるのだろうか。いっだしっぺのダダPに聞いてみた。
「今までは姉が受けて妹が攻め攻めでしたが、今回は逆にして姉の華蓮をSっ娘にしてみました。兄は罵倒されたりなじらたりするんですけど、そこにはちゃんと兄への愛があるんです。風華もただ受

け身なわけではなくHにはちゃんと興味があって、誘い受けてタイプですね。無理矢理ってシチュエーションだと方言の可愛らしさが表現できないです。もちろん最後はラブラブにします」
必ず根底には愛があると語るダダP。シナリオを担当するみかづき紅氏は少女の愛らしい心情表現に長けており、魅了的なキャラクターになることは間違いないだろう。

ふたりの妹と一緒に神社を盛り上げよう!!
今回も方言と標準語のツブーツブ、用意

